平成25年度　社中学校校門ほか改修工事　　　　　金 抜

工 事 番 号	加 教 教 第 21 号
工 事 場 所	加東市 木梨1134番地62
事 業 名	市単独事業
工 種	改修建築工事

兵庫県 加東市

内　　　　　訳				
	実施	今回変更	増減額	
設計額 （内消費税額）	円 （　　　　）	円 （　　　　）	円 （　　　　）	
請負額 （内消費税額）	円 （　　　　）	円 （　　　　）	円 （　　　　）	
執行方法	一般競争入札	業務日数	平成25年9月30日	

（　起工理由　）

社中学校校門前道路の改修に伴い現状の校門が使用できなくなるため、校門を移設し周辺の整備を行う。

概　　　要
社中学校校門ほか改修工事　一式

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	平成25年度	社中学校校門ほか改修工事					
A	外構工事		1.0	式			
	直接工事費計						
B	共通仮設費		1.0	式			
C	現場管理費		1.0	式			
D	一般管理費		1.0	式			
	小　　計						
	工事価格　計						
	消費税相当額	5%					
	工事費　計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
A	外構工事						
1）	囲障工事		1.0	式			
2）	舗装工事		1.0	式			
3）	屋外排水工事		1.0	式			
4）	植栽工事		1.0	式			
5）	発生材処分		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1）	囲障工事						
	(撤去)						
	重力式擁壁撤去	地上部H1050	9.0	m			
	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ撤去	H1200	9.0	m			
	門柱撤去	正門 RC造 W300 H1300	29.0	m			
	10.0M門扉一時撤去	補修後再利用 正門　L10.0M	1.0	箇所			
	6.0M門扉撤去処分	通用門　L6.0M	1.0	箇所			
	花壇撤去		41.0	m			
	池ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	RC造 石貼	1.0	式			
	ﾎﾟｰﾙ灯一時撤去	再設置	1.0	箇所			
	車止め一時撤去	再設置	5.0	本			
	校名板一時撤去	御影石 W1400×H200 清掃後再設置	1.0	箇所			
	小計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	(新設)						
	重力式擁壁新設	H1450	1.0	式			
	重力式擁壁新設	H840～1200	1.0	式			
	花壇新設	門柱前 吹付ﾀｲﾙ RC造 H500	26.1	m			
	門柱新設	吹付ﾀｲﾙ 凸凹模様 RC造　H1300	24.0	m			
	門柱改修	吹付ﾀｲﾙ 凸凹模様	8.0	m			
	門扉補修後再設置	既存亀井式門扉 補修再塗装 正門　L10.0M	1.0	箇所			
	車止め移設	補修塗装 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ新設共	5.0	本			
	車止め新設	ﾁｪｰﾝ共 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ新設共	1.0	本			
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ新設		28.0	箇所			
	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ新設	擁壁上に設置 H1200	29.5	m			
	ﾎﾟｰﾙ灯再設置		1.0	箇所			
	地先ﾌﾞﾛｯｸ新設	120*120*600	6.0	m			
	校名板再設置	御影石 W1400×H200	1.0	箇所			
	小計						
	合計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
２）	舗装工事						
	(構内工事・撤去)						
	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ		97.9	m			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ土間解体	t120	24.4	㎥			
	ｱｽﾌｧﾙﾄｶｯﾀｰ		56.3	m			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ解体	t50	2.1	㎥			
	ﾀｲﾙｶｯﾀｰ	下地ﾓﾙﾀﾙ共	7.0	m			
	ﾀｲﾙはがし	下地ﾓﾙﾀﾙ共	460.0	㎡			
	小計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	（構内工事・新設）						
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	密粒度ｱｽｺﾝA-5-15 再生材	69.5	㎡			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ劣化部補修		1.0	式			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	既存ｺﾝｸﾘｰﾄの上 t50	460.0	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	正門前 fc24-18-25 D10@200	117.0	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	fc24-18-25 溶接金網6φ150	22.0	㎡			
	駐車区画線引き	W150	97.0	m			
	身体障がい者ﾏｰｸ		1.0	箇所			
	小計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
	(市道乗入れ部工事・撤去)						
	ｱｽﾌｧﾙﾄｶｯﾀｰ		39.0	m			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ解体		123.0	㎡			
	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ		18.0	m			
	縁石撤去	歩道部花壇	3.6	m			
	現場打ち側溝撤去	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ・VP菅共	11.2	m			
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ撤去		12.0	m			
	小計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
	（市道乗入れ部工事・新設）						
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	車道復旧 加熱As混合物 粒度調整砕石 ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	60.0	㎡			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	歩道復旧 開粒度As(ｽﾄﾚｰﾄ) 切込砕石 ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	63.0	㎡			
	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	180*250 片面ﾀｲﾌﾟ	13.0	m			
	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	180*250 両面ﾀｲﾌﾟ	0.6	m			
	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	W180	4.9	m			
	白線引き	W150	14.0	m			
	現場打ち側溝新設	W300 受枠共	11.2	m			
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ新設	細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ T25 W300用	21.2	m			
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ新設	T25 W300用	2.2	m			
	ﾏﾝﾎｰﾙﾚﾍﾞﾙ調整		1.0	箇所			
	小計						
	合計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3）	屋外排水工事						
	(構内工事・撤去)						
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ撤去	W300 ｱﾝｸﾞﾙ共	13.0	m			
	現場打ち側溝撤去		1.5	m			
	池噴水配管撤去		1.0	式			
	集水桝撤去	蓋再利用 900*900*1000	1.0	箇所			
	小計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
	(構内工事・新設)						
	集水桝新設	450*450*600 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋新設 現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0	箇所			
	集水桝新設	900*900*1100 鋳鉄製蓋再利用 現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ	1.0	箇所			
	排水管新設	VU管　φ200	18.0	m			
	池水抜き穴新設	φ100　1箇所/㎡	1.0	式			
	既存現場打ち側溝埋め		12.0	m			
	小計						
	合計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4）	植栽工事						
	(撤去)						
	中低木　撤去後移設	ﾂｹﾞH1000	1.0	本			
	中低木　撤去後移設	ｻﾂｷ密植H500	231.0	㎡			
	中低木　撤去後移設	ﾂｹﾞH1500	4.0	本			
	中低木　撤去後移設	ｼﾀﾞﾚｻﾞｸﾗH2500	1.0	本			
	高木　　撤去後移設	ｶｼH3100	1.0	本			
	高木　　撤去後移設	ﾋﾞﾜH3500	1.0	本			
	高木　　撤去後移設	ｻﾙｽﾍﾞﾘH5500	1.0	本			
	高木　　撤去後移設	ｶｲﾂﾞｶｲﾌﾞｷH4000	1.0	本			
	中低木　撤去処分	H2500～3000抜根共	17.0	本			
	高木　　撤去処分	ｹﾔｷ	1.0	本			
	高木　　撤去処分	ｲﾁｮｳ 抜根共	1.0	本			
	庭石撤去		1.0	式			
	小計						

番　号	名　　　称	内　　　容	数　　量	単位	単　価	金　　　額	備　　　考
	(新設)						
	中低木　移設　植付共	ﾂｹﾞH1000	1.0	本			
	中低木　移設　植付共	ｻﾂｷ密植H500	231.0	㎡			
	中低木　移設　植付共	ﾂｹﾞH1500	4.0	本			
	中低木　移設　植付共	ｼﾀﾞﾚｻﾞｸﾗH2500	1.0	本			
	高木　　移設　植付共	ｶｼH3100	1.0	本			
	高木　　移設　植付共	ﾋﾞﾜH3500	1.0	本			
	高木　　移設　植付共	ｻﾙｽﾍﾞﾘH5500	1.0	本			
	高木　　移設　植付共	ｶｲﾂﾞｶｲﾌﾞｷH4000	1.0	本			
	植栽基盤B種	t500	93.3	㎡			
	小計						
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
５）	発生材処分						
	(運搬)						
	発生材運搬	土	34.1	㎥			
	発生材運搬	ﾓﾙﾀﾙ ｺﾝｸﾘｰﾄ	68.1	㎥			
	発生材運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ	16.4	㎥			
	発生材運搬	金属	0.9	㎥			
	発生材運搬	植物	29.6	㎥			
	小計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	(処分)						
	発生材処分	土	47.7	t			
	発生材処分	ﾓﾙﾀﾙ ｺﾝｸﾘｰﾄ	123.0	t			
	発生材処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ	29.6	t			
	発生材処分	金属	0.9	m^3			
	発生材処分	植物	5.9	t			
	小計						
	合計						

番　号	名　　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
B	共通仮設費						
Ⅰ	積上げ共通仮設費						
	仮囲い損料	単管ﾊﾟｲﾌﾟ ｼｰﾄ張り 1ヶ月	274.6	m			
	仮囲い損料	単管ﾊﾟｲﾌﾟ ｼｰﾄ張り 2ヶ月	36.0	m			
	仮囲い損料	ｹﾞｰﾄ 2ヶ月 W6.0m×H1.8m 片開き	1.0	箇所			
	積上げ分　計						
Ⅱ	共通仮設費率分		1.0	式			
	合計						

特　記　仕　様　書

1. 工事名等

工事番号　　加教教第　２１　号

工　事　名　　平成２５年度 社中学校校門ほか改修工事

工事場所　　加東市立社中学校（加東市木梨 1134 番地 62）

工　　期　　契約日より平成２５年９月３０日まで

現場着工は７月２３日（予定：水泳大会終了後）以降とする。

工事期間中も生徒や教職員の出入りを行えるよう、以下のように工事を２期に分ける。

【Ⅰ期】水泳大会終了後～８月３１日（夏休み中）

正門から校舎玄関付近の工事を行う。その間一般生徒の出入りは通用門より行う。

【Ⅱ期】９月１日～９月３０日（２学期中）

通用門～旧来客駐車場付近の工事を行う。その間一般生徒の出入りは新設正門より行う。新設正門から校舎玄関前を通り、駐輪場へ通行できるよう仮囲いの設置を行う事。

※詳細は仮設計画図を参照のこと。

2. 現場代理人及び主任技術者の設置

受注者は建設業法に基づき、本工事における現場代理人を決め、現場代理人届を提出すること。

3. 瑕疵担保期間

工事一般　　２年（加東市へ引き渡した日より）

但し、その瑕疵が請負人の故意または、重大な過失によって生じたものであるときは、１年を５年とし、２年を１０年とする。

4. 契約

工事契約は、加東市工事請負契約々款による。

5. 工程表

工程表は市監督員の承認を受け、提出すること。

6. 設計変更

設計変更を生じた時は、変更の指示書に基づき、市監督員と打ち合わせの上、変更工事に着手すること。

その場合は、各工事共契約時の設計単価・経費率により、設計金額に落札率を乗じて請負金額の増減を行う。

現場のおさまり・取合いなどの関係で軽微な変更をする場合も、市監督員の指示による。なお軽微な変更においては、請負金額の増減はしない。

7. 建築工事仕様書

（１）優先順位（設備工事も同様とする。）

①質疑応答書　②現場説明事項　③特記仕様書

④設計図　⑤共通仕様書　⑥設計書

（２）この工事の仕様については、この特記仕様書、並びに一般仕様書にない事項はすべて(社)公共建築協会「建築工事標準仕様書（平成２５年度版）」を適用する。

8. 現場施工要領

（１）工事写真・完成写真　(工事前・施工中・工事後がわかるように撮影)　１部提出

（２）完了検査

各検査は､適宜時期をはずさぬよう市監督員と事前に打合せの上､日時を決定し､検査を受けること。また完了検査前に施工業者による自主検査を行い、報告書を提出すること。

（３）立会

現場において、工程・施工上打合せ等の必要な時は、その前日までに連絡し立会をもとめること。

（４）告知義務

設計図書に従って施工した場合、後日瑕疵の発生を予期したる時は、市監督員に文書にて報告しなければならない。

（５）災害対策

災害を予期したる場合は、すみやかに防衛対策を図ること。また、万一災害を受けた場合は、調査報告並びに復旧対策書を提出のこと。

（６）材料機器承諾願い

使用資材の仕様届及び必要であれば見本を提出すること。

承諾願いを事前に提出し､設計書に記載されている内容の同等品以上であることの確認を受け、市監督員の承諾を得ること。

缶等の材料の使用前・使用後の数量がわかる書類を提出すること。

(納品書・写真等で数量がわかるようにすること)

（７）シンナー等有機溶剤の保管管理

トルエン、酢酸エチル又はメタノールを含有するシンナー、接着剤、塗料及びシーリング材の保管は盗難防止に留意し、厳重に保管すること。

なお、盗難にあった場合は直ちに市監督員に届出ること。

（８）ホルムアルデヒド放散量について

ＪＩＳ等により放散量の区分規定がある材料(下地の材料共)を使用する場合は、Ｆ☆☆☆☆を使用すること。

（９）産業廃棄物の処理

建設廃材等の産業廃棄物が発生する時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和４５年法律第１３７号）に基づき、適正に処理すること。

また建設廃棄物処理委託契約書及びマニフェスト票（Ａ票及びＤ票、またはＡ票及びＥ票）の写し、処分した廃棄物の種類・廃棄量がわかるものを提出すること。

9. 工事施工要領

工事内容は以下のとおりとする。

・校門ほか改修工事　一式

※詳細は設計書及び図面を参照のこと。

【留意事項】

① 工事期間は契約日より平成２５年9月３０日までとする。

② 本工事は、生徒が活動している中で施工するため、授業に支障とならないように協議しながら行うこと。

③ 安全確保に留意して工事を施工すること。現場での作業は、午前9時より午後5時までとする。

ただしやむをえない事情で工事をする時は､市監督員・学校管理者の承諾を得ること。

④ 現場の監督員および作業員は、学校内においては必ず名札を着用のこと。

⑤ 仮設工事の内容については、学校管理者と十分協議すること。

10. 交通安全対策事項

①工事中は、生徒及び一般車両を優先し、通行に注意すること。

②必要に応じて、現場周辺に工事、安全対策の表示及び誘導看板を設置すること。

③監督員、作業員の車両及び工事用車両については、指定の位置に駐車し、無断で付近の道路や空き地に駐車しないよう注意すること。

11. その他

① 作業に係る養生等の仮設費も本工事費に含むものとする。

12. 市監督員

加東市教育委員会　教育総務課　（４８－３３３３）

建築工事特記仕様書

※設計図書優先順位
①現場説明書　②特記仕様書　③設計図　④共通仕様書

I　建築工事仕様書
1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書最新版」（以下共通仕様書）による。
2　特記仕様
（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。
（2）特記事項は○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は共に適用する。
（3）項目に記載の（　）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目を示す。
（4）材料及び製造所等の記載は順不同である。

章　項　目　特　記　事　項

1　一般共通事項

① 適用範囲 適用基準等（1. 1. 1）
※本仕様書は、建築物等の新築及び増改築等に係わる建築工事に適用する。

② 発生材の処理等（1. 1. 13）
※発生材の処理は、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理および清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針、その他関係法令によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理し監督職員に報告する。
※廃棄物の処理を委託する場合には、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と「建設廃棄物処理委託契約書」により書面で委託契約を締結しなければならない。また、契約締結後は速やかに建設廃棄物処理委託契約書の写しを工事監督員に提出しなければならない。
※産業廃棄物が委託内容どおり処理されたことを確認するものとして、「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」を使用しなければならない。また、運搬車両ごとに処分（中間処理）が済み次第、速やかにA票、B２票、D票の写しを工事監督員に提出し、最終処分等については、確認出来次第、速やかに確認資料（E票等）の写しを、工事の完了に関係なく、工事監督員に提出するものとする。
・工事着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、工事監督員の承諾を得ること。
・竣工検査時までに「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること
・引き渡しを要するもの（　　　　　　　　　　）
・現場において再利用を図るもの（　　　　　　　　　　）
・再生資源化を図るもの　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材
・特別管理産業廃棄物（図示による）

③ 建築材料等 材料の検査等（1. 4. 1）
※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
・現場に搬入した材料は、種別ごとに監督職員の検査を受ける。
※設計図書に定めるＪＩＳ又はＪＡＳのマーク表示のある材料並びに規格、基準等の規格証明書が添付された材料は、設計図書に定める品質及び性能を有したものとして取り扱うことができる。

④ 特別な材料の工法
※建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

5 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策
・監督職員と協議した対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。内装材、有機溶剤含有接着剤・塗料はF☆☆☆☆を用いる。
測定物質　※ホルムアルデヒド※アセトアルデヒド※トルエン※キシレン※エチルベンゼン※スチレン・パラジクロロベンゼン

測定箇所（室）		

測定法　・検知管法　・検知紙法　・定電位電解法　・吸光光度法
※高速液体クロマトグラフ法（ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド）及びガスクロマトグラフ法（トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン）
採取方法　※拡散方式（パッシブ方式）　・吸引方式（アクティブ方式）
※木工事用接着剤　接着剤に含まれている可塑剤は、難揮発性のものとする
※木材保存剤　非有機リン系とする
※塗料材料　ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする
※内装工事用接着剤　壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとし、可塑剤は、難揮発性のものとする
（上記によりがたい場合は、監督員との協議による。）有機溶剤含有の接着剤･塗料等はMSDSを現場に常備する事。

⑥ 工事関係図書（提出書類）
下記に定める図書等を監督職員に提出し承諾を受ける。監督職員は下記に定める他、必要な図書の提出を求めることがある。
⊙工事請負契約書写(契約時)2部　⊙契約工程表(契約時)2部　⊙詳細工程表(工程会議時)2部 工事期間中
⊙請負代金内訳書(契約後7日以内) 2部　⊙損害保険契約書及び保証書写(契約後7日以内)2部
⊙現場代理人､~~監理技術者､~~主任技術者､専門技術者届(契約後7日以内)2部経歴、資格を記す
⊙コリンズ登録写(契約後7日以内)2部　・現場常駐職員届(契約書7日以内)2部 経歴、資格を記す
⊙総合施工計画書(契約後14日以内)2部　⊙施工計画書 施工体制台帳･~~体系図~~(当該工事着手7日前)2部
⊙下請業者承諾願(その都度)2部　⊙施工図(施工前 7日前)2部　⊙使用材料機器等承諾(その都度)2部
⊙材料試験成績報告書(その都度)2部　⊙見本(その都度)2部 種類と形状　⊙工事記録報告書(月報として毎月5日)2部　⊙打ち合わせ記録簿(その都度)2部　⊙変更工事見積書(その都度)2部
⊙出来高承認願(その都度)2部　⊙工事完了届（工事完了時）2部　自主検査報告書添付
⊙工事写真帳1部 ｶﾗｰ(300万画素以上)

⑦ ＣＡＤデータ
・ＣＡＤデータは有償で配布する。（五会合協定による）

⑧ 完成時の提出書類（1. 7. 1）
※完成図　A１もしくはA２版の製本を1部、A３版の製本を2部（・意匠図　・構造図　・設備図）としＣＡＤデータと共に提出。
原図：設計図書の原図訂正を可とする。（・ＣＡＤデータによる場合は、協議のこと）
●工事竣工引渡書(竣工時) 2部〔完了届、引渡書、検査証書、官公庁届出控、工事保証書、鍵引渡書、備品引渡書、取扱説明書〕鍵箱1個、工具箱1個

9 完成写真
竣工写真アルバム(竣工時)2部　専門家撮影による。キャビネ版(ｸﾘｱｰﾎﾙﾀﾞｰ綴)
完成写真の撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者

10 技能士（1. 5. 2）
・適用する　・適用しない

⑪ 設備工事との取り合い
⊙設備機器の取合等の検討できる施工図を提出して承諾を受ける。

⑫ 工事責任者
※責任者の条件　（主任技術者の要件を満たし、元請負業者と直接的、恒常的な雇用関係がある事）

⑬ その他
⊙現場には必ず設計図･見積書･共通仕様書を各１部おいておくこと
⊙工事のため隣家、通行者、第三者等への損害、補償及び補修は請負者の負担とする。
⊙近隣に対して着工前に適切なる処置をなし、工事の円滑を計るようにする。
⊙設計図書に指示ある事項であっても、施工者が適当でないと認めたものは、事前に訂正を申し出て、係員の指示・決定通り施工すること。適当でないと知りつつ施工してはならない。
⊙工事用車輌の出入口には必要に応じ警備員を配置し、通行人や車両への配慮を十分に行うこと。
⊙周辺に配慮した仮設計画を作成し、係員の承諾を受ける事。
⊙工事に必要な申請は請負業者が行う事。

2　仮設工事

① 仮設建物
⊙現場事務所　⊙要　・不要　（規模　打合せのできるスペースを確保のこと。）
⊙仮設トイレ　⊙要　・不要　（規模　原則学校施設のトイレは使用しない　）

② 工事用水
既存施設の設備　⊙利用できる（※有償　・無償）　・利用できない

③ 工事用電力
既存施設の設備　⊙利用できる（※有償　・無償）　・利用できない

④ 表示板及び仮囲い
⊙表示板　・工事名称：設計及び監理事務所名・施工者名を係員の指示により取付ける。
⊙仮囲い　・フェンスバリケードH＝　m(シート貼り)・亜鉛鉄板H＝・　m　⊙図示　延べ約＿＿m
⊙門　（・シートゲート　・パネルゲート　⊙図示）　W＝＿＿m×H＝（＿m）箇所　・鋼板敷 厚　mm

⑤ その他
⊙騒音の発生する工事は、土日に行なわないこと。
⊙工事上撤去、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。
⊙工事施工にあたり、付近住民･通行人･工作物に損害を与えないよう必要な保護設備を計画し係員及び各関係人の承諾を得て施工する。万一損害を与えた場合は速やかに応急手当、復旧しこれに要した費用は請負者の負担とする。

3　土工事

① 根切り（3. 2. 1）
※根切り底は、地盤を撹乱しないように掘削し、かく乱した場合は適切な処理を定め監督職員の検査を受ける。

② 埋戻し及び盛土（3. 2. 3）
種別・A種（山砂及び良質花崗土の類）⊙B種（根切土の中の良質土）・C種（他現場の建設発生土の中の良質土）・D種（再生コンクリート砂）
※（注）埋戻し及び盛り土は、各層３００mm程度ごとに締め固める。

③ 建設発生土の処理（3. 2. 5）
※構外搬出適切処理　・（・構外　・構内）指示の場所に敷き均し
・（・構外　・構内）指示の場所に堆積　・構外指示の場所に処分

4 その他
・

4　地業工事

1 試験杭及び試験掘削（4. 2. 2）
※位置・本数は、基礎伏図による。また、仕様は、本杭と同じとする。
※プレボーリング工法にて、先に試験掘削を行い地層を確認する。

2 既製コンクリート杭　地業（4. 3. 1～5）
※杭施工管理技術者を置く
工法　※　特定認定杭工法

杭の種類

種類の記号	※ＰＨＣ杭	・
品質	※A種　・B種　・C種	・
寸法（Dmm×Lmm）		
継手の箇所数	箇所	
先端部の形状	※開放形　・	

継手の方法　※アーク溶接　（半自動溶接）　・無溶接継手
杭頭の処理　※行わない　・行う

3 場所打ちコンクリート杭地業（4. 5. 1～4）
※杭施工管理技術者を置く
工法　・アースドリル工法　・リバース工法　・オールケーシング工法
掘削深さ（m）　※図示による
断面寸法（mm）　※図示による

コンクリート設計基準強度　※２１N／mm2

コンクリートの種別	・A種	※B種
水セメント比の最大値	６０%以下	５５%以下
所要スランプ　cm	１８	
粗骨材の最大寸法　mm	２５（砕石の場合２０）	
単位セメント量の最小値	３１０	３４０
備考	無水堀り	左記以外

表4. 5. 1
※コンクリートの種類　※普通コンクリート
※調合強度には温度補正、強度の割増しは不要。

4 地質確認（4. 6. 2～4）
※直接基礎の場合試験堀を行い、地層地質の確認を行う。

⑤ 砂利地業
使用材料　※切込み砂利、切込み砕石又は再生クラッシャランとし粒度はC－４０程度とする。

6 床下防湿層（4. 6. 6）
・ポリエチレンフィルム等で厚さ０．１５mm以上、重ね幅縦横共２５０mm以上
・土間フォーム（旭ダウ同等品）B－２　t＝２０防湿フィルム付
※使用箇所は（・建物内土間下全域　・建物内土間下全域　　　　）とする。

⑦ 捨コンクリート地業（4. 6. 5）
厚さ　・６０mm　⊗図示による

8 その他
・構造特記による

5　鉄筋工事

① 鉄筋（5. 2. 1）

種類の記号	径　(mm)	使用箇所
※SD２９５A	D１６以下	
※SD３４５	D１９以上	
・		
・		
・		
・		

② 溶接金網（5. 2. 2）
寸法　※６．０φ×１５０×１５０　施工箇所（　　　　　　）

③ 鉄筋の継手（5. 4. 1）
※ガス圧接継手（D１９以上）　（D２９以上の場合　・ガス圧接　・特殊継手）　※重ね継手（D１６以下）

4 圧接完了後の試験（5. 4. 9）
※外観試験　（全圧接部）
※抜取り試験　（※超音波探傷試験　・引張り試験）　構造特記による

5 その他
※その他の事項については、別紙「鉄筋コンクリート設計標準図」による。
構造特記による

21　排水工事

① 排水管（21. 2. 1）
⊙図示による　⊙硬質塩化ビニル管（・VP　⊙VU　）

② 埋戻しに用いる材料（21. 2. 3）
※種別　・A種　※B種　・C種　・D種

③ グレーチング
⊙図示による

4 鋳鉄製マンホールふた
・図示による

5 その他
・

22　舗装工事

1 路床の盛土材料（22. 2. 3）
種別　・A種　※B種　・C種　・D種

2 試験（22. 2. 5）
路床の支持力比試験　・行う　※行わない　路床締固め度試験　・行う　※行わない

③ アスファルト舗装（22. 4. 1）
⊙図示による

④ コンクリート舗装（22. 5. 1）
⊙図示による

5 ブロック系舗装（22. 8. 1）
・図示による

⑥ 区画線（22. 11. 1）
※3種1号、色（白色）、塗布厚さ（１．０mm）
※再生材料の使用を可とする。（※クラッシャラン）

⑦ その他
⊙図示による

23　植栽工事

1 植栽地の確認（23. 1. 3）
土壌の酸度及び塩分量の試験　・行う　※行わない

2 植栽基盤の整備（23. 2. 2）
樹木　・行う（※A種･C種･D種）　※行わない　芝　※行う（※B種･C種･D種）・行わない

③ 植込み用土（23. 2. 3）
※現場発生の良質土　・客土

4 新植樹木の枯補償
新植樹木の枯補償は引渡の日から１年とする

5 その他
・

CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	

SCALE　NO SCALE
DATE　平成　年　月　日
CONSTRUCTION NAME　平成25年度　社中学校校門ほか改修工事
PLAN NAME　特　記　仕　様　書
No.　01

工事期間は７月２３日（水泳大会終了後）から９月３０日までとする。
工事期間中も生徒や教職員の出入りがあるため、工事を以下のように２期にわける。
【Ｉ期】７月２３日～８月３１日（夏休み中）
正門～校舎玄関付近の工事を行う。その間一般生徒は通用門より出入りを行う。
【Ⅱ期】９月１日～９月３０日（２学期中）
通用門～旧来客駐車場付近の工事を行う。その間一般生徒は新設正門～校舎玄関前
～駐輪場への出入りを行う。一般生徒が通行できるよう仮囲いの設置を行う事。
凡　例
仮囲い ｼｰﾄ張りH2.0m
工事用スペース
仮設建物　プレハブ1階建　2間*3間程度
仮設計画
1.仮囲には「関係者以外立入禁止」の表示を行うこと
2.工事で使用した部分について万一破損した場合は、
現況復旧をはかること
3.仮囲等の仮設計画については、請負業者決定後、
関係者協議の上最終決定とする
4.工事車両進入時は生徒の安全確保のためガードマン
を配置のこと。
工事車両進入経路
機械室
教室
プール付属棟
技術室棟
屋内運動場
柔剣道場
本館棟
体育倉庫・ｸﾗﾌﾞ室
通用門
入口
敷地外駐車場
自転車置場
仮囲い 36.0m
仮囲い 57.0m（Ｉ期）
仮囲い（Ｉ期） 86.6m
仮囲い 131.0m（Ⅱ期）
※二期工事の際は生徒が通行できるようにしておく事
配置図兼仮設計画図　S=1/800
CHECKED BY
DESIGNED BY
DRAWN BY
SCALE
S=1/800
DATE
平成　年　月　日
CONSTRUCTION NAME
平成25年度　社中学校校門ほか改修工事
PLAN NAME
配置図兼仮設計画図
No.
02

現 況 ・ 撤 去 図

撤去工事リスト

No.	項目	備考		数量
①	重力式擁壁撤去	地上部H1050		L=9.0m
②	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ撤去	H1200		L=9.0m
③	門柱撤去	H1300	(詳細図による)	L=29.0m
④	10.0M門扉一時撤去	補修後再利用	(詳細図による)	1箇所
⑤	6.0M門扉撤去処分			1箇所
⑥	花壇撤去			L=41.0m
⑦	池ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		(詳細図による)	1式
⑧	ﾎﾟｰﾙ灯一時撤去	再設置		1箇所
⑨	車止め一時撤去	再設置		5本
⑱	校名板一時撤去	清掃後再設置	(詳細図による)	1箇所
⑫	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去		(詳細図による)	L=18.0m
⑮	縁石撤去		(詳細図による)	L=3.6m
⑭	現場打ち側溝撤去	VP管共	(詳細図による)	L=11.2m
⑬	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ撤去	W300	(詳細図による)	L=12.0m
⑩	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ撤去	W300 ｱﾝｸﾞﾙ共		L=13.0M
⑰	現場打ち側溝撤去			L=1.5m
⑪	池噴水配管撤去	配管は地中でﾌﾟﾗｸﾞ止め 電線はﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ内でﾃｰﾌﾟ巻処理 ﾌﾞﾚｰｶｰ(職員室)は二次側外す		1式
⑯	集水桝撤去	900×900×1100 蓋再利用		1箇所

舗 装 凡 例

記号	項目	数量
あ	ﾀｲﾙはがし下地ﾓﾙﾀﾙ共	A=460.0m²
い	ｱｽﾌｧﾙﾄ撤去	A= 2.1m³
う	ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	A=24.4m³
え	築山撤去	A= 5.7m³

※ｺﾝｸﾘｰﾄ、ｱｽﾌｧﾙﾄ等撤去をする際は周囲とｶｯﾀｰ切りにより通りよく行うこと

CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	SCALE S=1：200	CONSTRUCTION NAME 平成25年度 社中学校校門ほか改修工事	No. 03
			DATE 平成 年 月 日	PLAN NAME 現 況 ・ 撤 去 図	

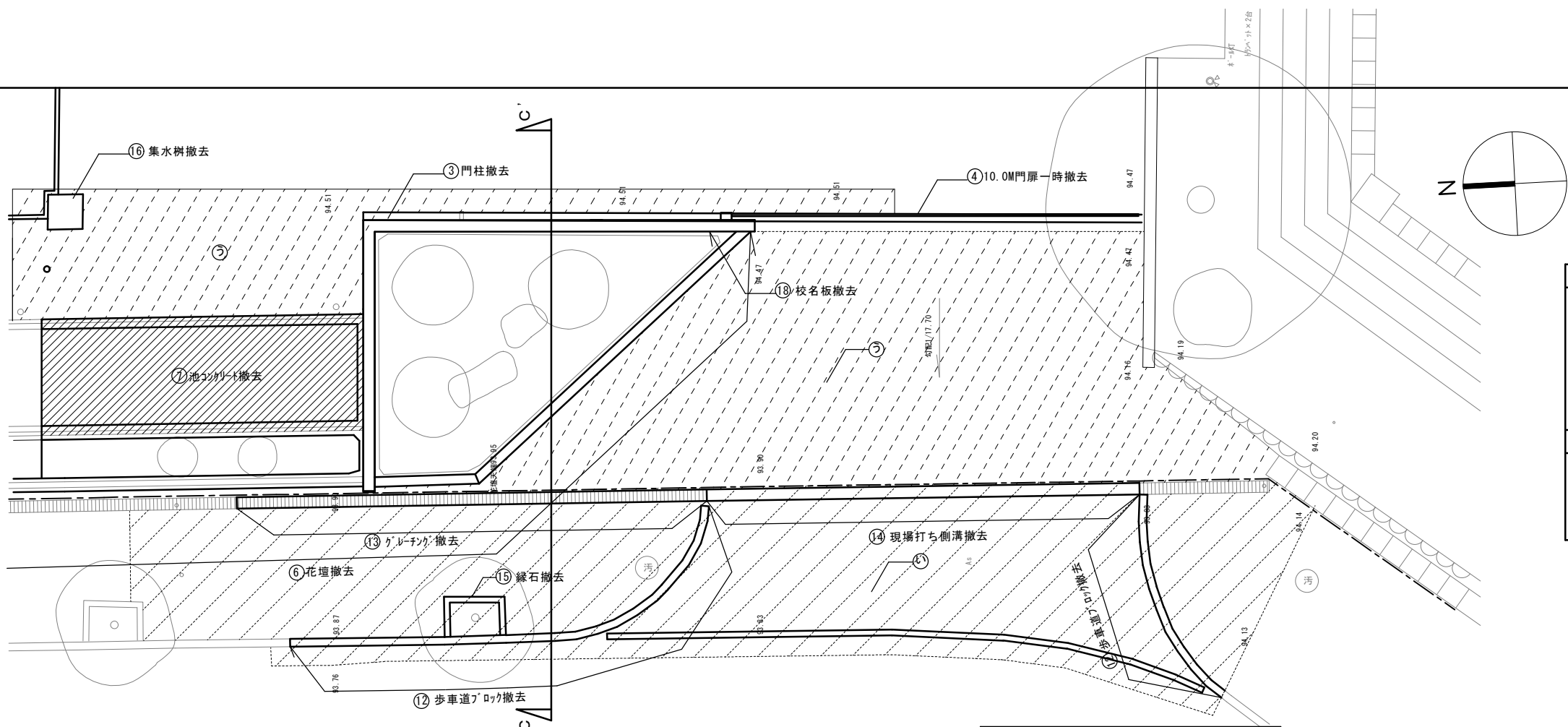
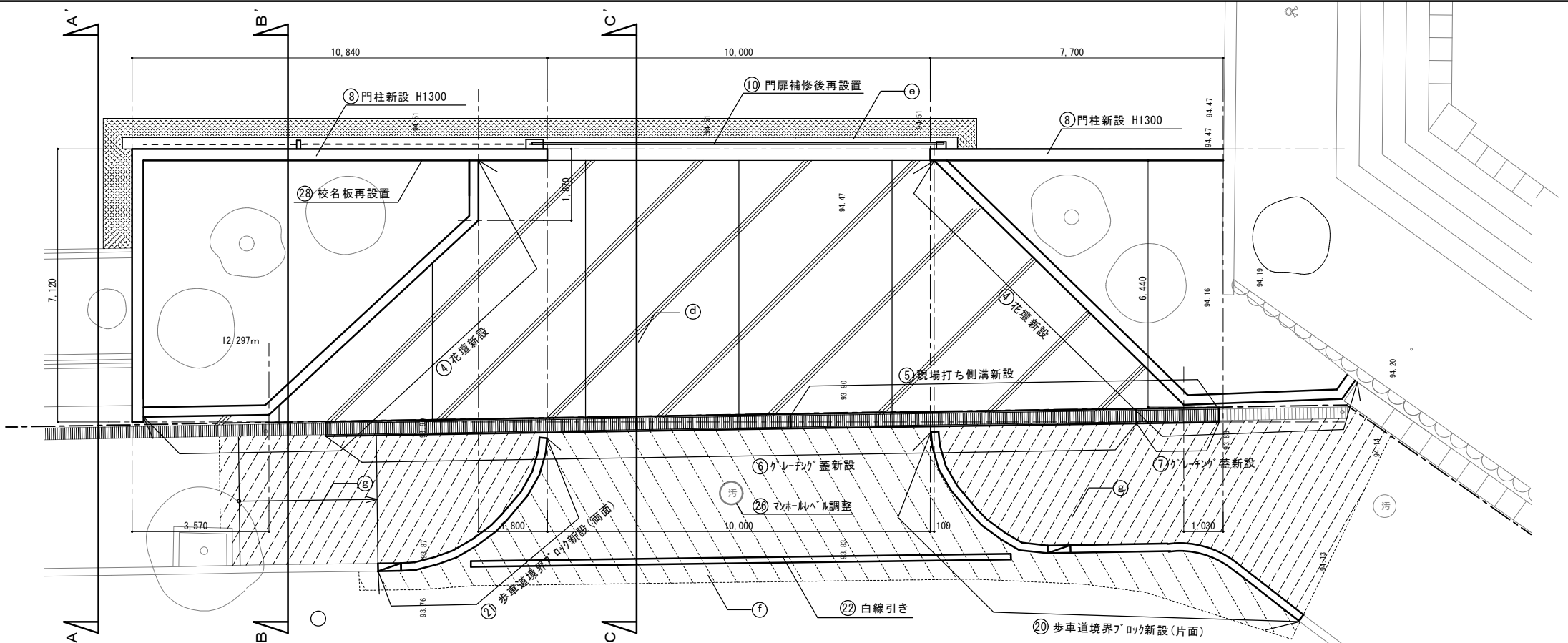
工事リスト

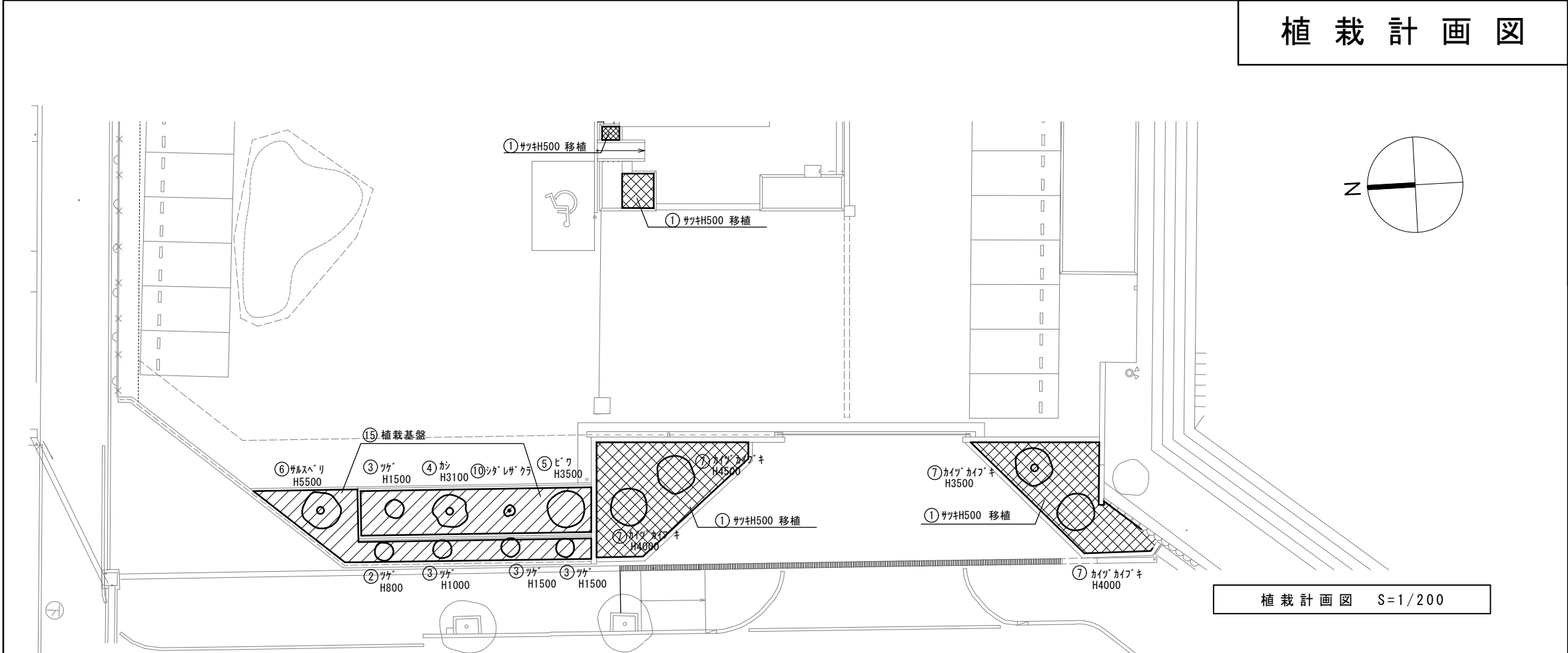
No.	工事	仕様	備考	数量
①	重力式擁壁新設　H=1450			L=13.1m
②	重力式擁壁新設　H=840～1200			L=16.7m
④	花壇新設	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上吹付ﾀｲﾙ 凹凸模様		L=26.1m
⑧	門柱新設 H1300	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上吹付ﾀｲﾙ 凹凸模様	(詳細図による)	L=24.0m
⑨	門柱改修	既存ﾀｲﾙ撤去後、ﾓﾙﾀﾙ塗の上吹付ﾀｲﾙ 凹凸模様		L=8.0m
⑩	門扉補修後再設置		(詳細図による)	1箇所
⑯	車止め移設	塗装やり替え SOP		5本
⑰	車止め新設	ｽﾁｰﾙ製 脱着式		1本
⑲	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ新設			28箇所
㉓	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ新設	H1200 朝日ｽﾁｰﾙ ﾕﾆﾌｪﾝｽ同等以上		L=29.5m
㉔	ﾎﾟｰﾙ灯移設	塗装やり替え SOP		1箇所
㉕	地先ﾌﾞﾛｯｸ新設	100×100 L600	(詳細図による)	L=6.0m
㉘	校名板再設置		(詳細図による)	1箇所
⑪	駐車区画線引き	W150		L=97.0m
⑫	身体障がい者ﾏｰｸ			1箇所
⑳	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ新設	ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石 180×250 L600 片面ﾀｲﾌﾟ	(詳細図による)	L=12.0m
㉑	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ新設	ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石 180×250 L600 両面ﾀｲﾌﾟ	(詳細図による)	L=6.5m
㉒	白線引き	W150	(詳細図による)	L=14.0m
⑤	現場打ち側溝新設		(詳細図による)	L=11.2m
⑥	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋新設	細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-25	(詳細図による)	L=21.2m
⑦	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋新設	T-25	(詳細図による)	L=2.2m
㉖	ﾏﾝﾎｰﾙﾚﾍﾞﾙ調整		(詳細図による)	1箇所
⑬	集水桝新設	ｺﾝｸﾘｰﾄ会所 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ:細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-25		1箇所
⑭	集水桝新設	ｺﾝｸﾘｰﾄ会所 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ:細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ T-25		1箇所
⑮	排水管新設	VU φ200		L=18.0m
⑱	水抜き穴新設	φ100		1式
㉗	既存現場打ち側溝埋め	ｺﾝｸﾘｰﾄで埋める		L=12.0m

舗装凡例

記号	舗装	箇所	備考	数量
ⓐ	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装A-5-15		(詳細図による)	A=69.5㎡
ⓑ	ｱｽﾌｧﾙﾄ劣化部補修			1式
ⓒ	既存ｺﾝｸﾘｰﾄの上ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		(詳細図による)	A=460.0㎡
ⓓ	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装		(詳細図による)	A=117.0㎡
ⓔ	ｺﾝｸﾘｰﾄの上ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		(詳細図による)	A=22.0㎡
ⓕ	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	市道切下げ部(車道部)	(詳細図による)	A=60.0㎡
ⓖ	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	市道切下げ部(歩道部)	(詳細図による)	A=63.0㎡

CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	SCALE	S＝1：200
			DATE	平成　年　月　日

CONSTRUCTION NAME	平成25年度　社中学校校門ほか改修工事	No. 04
PLAN NAME	計　画　図	

現 況 ・ 撤 去 図
⑯集水桝撤去
③門柱撤去
④10.0M門扉一時撤去
⑱校名板撤去
⑦池コンクリート撤去
⑬グレーチング撤去
⑭現場打ち側溝撤去
⑥花壇撤去
⑮縁石撤去
⑫歩車道ブロック撤去
⑫歩車道ブロック撤去
現況・撤去詳細図 S=1/100
撤去工事リスト
⑦ 池コンクリート撤去 1式
⑱ 校名板一時撤去 清掃後再設置 1箇所
⑫ 歩車道境界ブロック撤去 L=18.0m
⑮ 縁石撤去 L=3.6m
⑭ 現場打ち側溝撤去 VP管共 L=11.2m
⑬ グレーチング撤去 W300 L=12.0m
舗装凡例
い アスファルト撤去 A= 2.1m³
う コンクリート撤去 A=24.4m³
※コンクリート、アスファルト等撤去をする際は周囲とカッター切りにより通りよく行うこと
計 画 図
10,840
10,000
7,700
⑧門柱新設 H1300
⑩門扉補修後再設置
⑧門柱新設 H1300
㉘校名板再設置
7,120
1,830
6,440
12,297m
④花壇新設
④花壇新設
⑤現場打ち側溝新設
⑥グレーチング蓋新設
⑦グレーチング蓋新設
㉖マンホールレベル調整
3,570
3,800
10,000
100
1,030
②歩車道境界ブロック新設(両面)
㉒白線引き
⑳歩車道境界ブロック新設(片面)
※歩車レベルについては加東市土木課と協議の上決定すること
計画詳細図 S=1/100
工事リスト
⑧ 門柱新設 H1300 RC 磁器質二丁掛タイル貼 L=24.0m
⑩ 門扉補修後再設置 1箇所
㉕ 地先ブロック新設 100×100 L600 L=6.0m
㉘ 校名板再設置 1箇所
⑳ 歩車道境界ブロック新設 コンクリート縁石 180×250 L600 片面タイプ L=12.0m
㉑ 歩車道境界ブロック新設 コンクリート縁石 180×250 L600 両面タイプ L=6.5m
㉒ 白線引き W150 L=14.0m
⑤ 現場打ち側溝新設 L=11.2m
⑥ グレーチング蓋新設 細目ノンスリップ T-25 L=21.2m
⑦ グレーチング蓋新設 T-25 L=2.2m
㉖ マンホールレベル調整 1箇所
舗装凡例
a アスファルト舗装A-5-15 A=69.5㎡
c 既存コンクリートの上アスファルト舗装 A=460.0㎡
d コンクリート舗装 A=117.0㎡
e コンクリートの上アスファルト舗装 A=22.0㎡
f アスファルト舗装 市道切下げ部(車道部) A=60.0㎡
g アスファルト舗装 市道切下げ部(歩道部) A=63.0㎡
CHECKED BY
DESIGNED BY
DRAWN BY
SCALE S=1：100
DATE 平成 年 月 日
CONSTRUCTION NAME 平成25年度 社中学校校門ほか改修工事
PLAN NAME 校門周り詳細図
No. 05

23 ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ新設
植栽基盤B種t500
土移設t400
砕石t100
▽94.51
植栽基盤B種t500
土移設
2 重力式擁壁新設
a ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装A-5-15
再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝt150
c 既存ｺﾝｸﾘｰﾄの上透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装A-5
▽93.90
▽93.76
既存現場打ち側溝
18 水抜き穴新設
100φ1箇所/㎡
A-A'断面図 S=1/30
200
8 門柱新設
ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上吹付ﾀｲﾙ 凹凸模様
10 門扉補修後再設置
植栽基盤B種t500
1,300
300
500
c 既存ｺﾝｸﾘｰﾄの上透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装A-5
4 花壇新設
ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上吹付ﾀｲﾙ
e ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装A-5
ｺﾝｸﾘｰﾄt100
▽94.51
g ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装
500
300
200
150
150
150
▽93.90
▽93.76
50
250
50
既存現場打ち側溝
※歩車ﾚﾍﾞﾙについては加東市土木課と協議の上決定すること
B-B'断面図 S=1/30
CHECKED BY
DESIGNED BY
DRAWN BY
SCALE
S=1：30
DATE
平成 年 月 日
CONSTRUCTION NAME
平成25年度 社中学校校門ほか改修工事
PLAN NAME
各部断面図 1
No. 06

門柱 RC造
磁器質ﾀｲﾙ貼
石貼
ﾀｲﾙ貼り
▽94.51
現場打ち側溝
ﾀｲﾙ貼り
▽93.91
△93.85
現況撤去C-C'断面図 S=1/30
300
⑦門柱新設
ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上吹付ﾀｲﾙ 凹凸模様
⑨門扉補修後再設置
1,300
300
500
△道路復旧範囲
ⓒ土間ｺﾝｸﾘｰﾄ F-24-8-25 t150
④花壇新設
ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上吹付ﾀｲﾙ
ⓔｺﾝｸﾘｰﾄの上ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装
ⓒ既存ｺﾝｸﾘｰﾄの上透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装A-5
▽94.51
ⓕｱｽﾌｧﾙﾄ舗装
⑥ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋新設
▽93.91
△93.85
計画C-C'断面図 S=1/30
CHECKED BY
DESIGNED BY
DRAWN BY
SCALE
S=1：30
DATE
平成 年 月 日
CONSTRUCTION NAME
平成25年度 社中学校校門ほか改修工事
PLAN NAME
各部断面図2
No. 07

植 栽 撤 去 図
植栽工事リスト
一時撤去
① 低木 サツキ H0.5M A=77.0㎡
② 中木 ツゲ H1.0M 1本
③ 中木 ツゲ H1.5M 4本
④ 高木 カシ H3.1M 1本
⑤ 高木 ビワ H3.5M 1本
⑥ 高木 サルスベリ H5.5M 1本
⑦ 高木 カイヅカイブキ H4.0M 4本
⑩ 中木 シダレザクラ H2.5M 1本
撤去・処分
⑨ 中木 H2.5～3.0M 17本
⑪ 高木 イチョウ 抜根共 1本
⑫ 高木 ケヤキ 地上から上部を切断 1本
⑬ 庭石 1式
⑭ 土撤去
⑨中木
樹高H2.5～3.0M
⑥サルスベリ
H5500
④カシ
H3100
⑤ビワ
H3500
⑦庭石
⑩シダレザクラ
①サツキH500 21.0m²
⑦カイヅカイブキ
H4500
②ツゲ
H800
③ツゲ
H1500
③ツゲ
H1000
③ツゲ
H1500
③ツゲ
H1500
①サツキH500 21.0m²
⑦カイヅカイブキ H4000
⑦カイヅカイブキ H4000
①サツキH500 35.0m²
⑦カイヅカイブキ H3500
⑦庭石 800×1000 H1500
⑦庭石 1800×1000 H700
抜根共
⑪イチョウ
高木
⑫ケヤキ
高木
地上から上部を切断
植栽撤去図 S=1/200
植 栽 計 画 図
植栽工事リスト
移設
① 低木 サツキ H0.5M A=77.0㎡
② 中木 ツゲ H1.0M 1本
③ 中木 ツゲ H1.5M 4本
④ 高木 カシ H3.1M 1本
⑤ 高木 ビワ H3.5M 1本
⑥ 高木 サルスベリ H5.5M 1本
⑦ 高木 カイヅカイブキ H4.0M 4本
⑩ 中木 シダレザクラ H2.5M 1本
新設
⑮ 植栽基盤 植栽基盤B種t500
①サツキH500 移植
①サツキH500 移植
⑮植栽基盤
⑥サルスベリ
H5500
③ツゲ
H1500
④カシ
H3100
⑩シダレザクラ
⑤ビワ
H3500
⑦カイヅカイブキ
H4500
⑦カイヅカイブキ
H4000
①サツキH500 移植
⑦カイヅカイブキ
H3500
①サツキH500 移植
⑦カイヅカイブキ
H4000
②ツゲ
H800
③ツゲ
H1000
③ツゲ
H1500
③ツゲ
H1500
植栽計画図 S=1/200
CHECKED BY
DESIGNED BY
DRAWN BY
SCALE S=1：200
DATE 平成 年 月 日
CONSTRUCTION NAME 平成25年度 社中学校校門ほか改修工事
PLAN NAME 植栽工事撤去及び計画図
No. 12